

## 情報名:ミラノ 2K スピカクリヤー2 ポリッシング仕様書

| 工 程            | 使 用 材 料   | 備 考  |
|----------------|---|--|
| 1<br>ゴミ取り、肌落とし | 水研ペーパーP2000 以上<br><br>推奨品<br>アブラロン 2000、4000  | 水研ペーパー等を用いてゴミ取り、肌落としを行う。<br><br>*粗いペーパーで肌落としを行った時は、ペーパーにて P2000 より細かいペーパー目に目消しをしておくこと。   |
| 2<br>ペーパー目消し   | 推奨品<br>*細目コンパウンド<br>ミルカ社製<br>ポーラシャイン C20、T10<br>*ウールバフ<br>ミルカ社製<br>ラムウールバフ<br>オレンジバフ          | 細目コンパウンド、ウールバフを用いてペーパー目を消す。<br><br>*この工程で完全にペーパー目を消しておかないと次工程でペーパー目消しは不可能。<br>*この時、タオルバフは深い傷が入るため使用できない。<br>*耐スリ傷クリヤーを研磨する能力のないコンパウンド、バフを用いると、かえってペーパー目が広がる。                                 |
| 3<br>バフ目消し     | 推奨品<br>*超微粒子コンパウンド<br>ミルカ社製<br>ポーラシャイン T10、VF5<br>*スポンジバフ<br>ミルカ社製<br>ブラックドットバフ<br>ブラックフラットバフ | (1)超微粒子コンパウンド、ウールバフを用いて細目コンパウンドのバフ目を消す。<br><br>*この時のバフは細目コンパウンドで用いた時のバフを用いた方が良い。また、細目コンパウンドと超微粒子コンパウンドを1対1で混ぜたコンパウンドで1~2回磨いておくと、次の(2)の工程時間を短くできる。<br><br>(2)超微粒子コンパウンド、スポンジバフ(細目)を用いて仕上げを行う。 |